

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公 開 特 許 公 報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2022-150063
(P2022-150063A)

(43)公開日 令和4年10月7日(2022. 10. 7)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
H 0 4 W 72/04 (2009. 01)	H 0 4 W 72/04 1 3 2	5 K 0 6 7
H 0 4 W 16/14 (2009. 01)	H 0 4 W 16/14	
H 0 4 W 72/08 (2009. 01)	H 0 4 W 72/08 1 1 0	

審査請求 有 請求項の数 15 O L (全 36 頁)

(21)出願番号 特願2021-52479(P2021-52479)	(71)出願人 393031586 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2
(22)出願日 令和3年3月25日(2021. 3. 25)	(71)出願人 598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
新規性喪失の例外適用申請有り	(74)代理人 100112715 弁理士 松山 隆夫
(出願人による申告) 令和2年度支出負担行為担当官、総務省大臣官房会計課企画官、研究テーマ「電波利活用強靱化に向けた周波数創造技術に関する研究開発及び人材育成プログラム」に関する委託研究、産業技術力強化法第17条の適用を受ける特許出願	(72)発明者 太田 真衣 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19-1 学校法人福岡大学内
	(72)発明者 太郎丸 眞 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19-1 学校法人福岡大学内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 端末装置、コンピュータに実行させるためのプログラムおよびプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

(57)【要約】

【課題】異なる無線通信システムを用いて無線通信を行う端末装置と共存して無線通信を行う端末装置を提供する。

【解決手段】学習器4は、パケットの通信結果、無線通信の空き期間、および他の端末装置による無線通信の有無を観測する期間である観測期間における送信用チャネルの状態に基づいて学習を繰り返し実行し、最大の平均報酬が得られるときのチャネルを所定の確率で送信用チャネルとして選択するとともに最大の平均報酬が得られるときのパケット長を観測期間における送信用チャネルの状態に応じて所定の確率で選択する。制御手段3は、送信データを含むパケットを生成し、学習器4から受けた送信用チャネルが空いているとき、その生成したパケットを送信手段5へ出力する。送信手段5は、制御手段3から受けたパケットを学習器4から受けたパケット長で送信する。

【選択図】 図2

